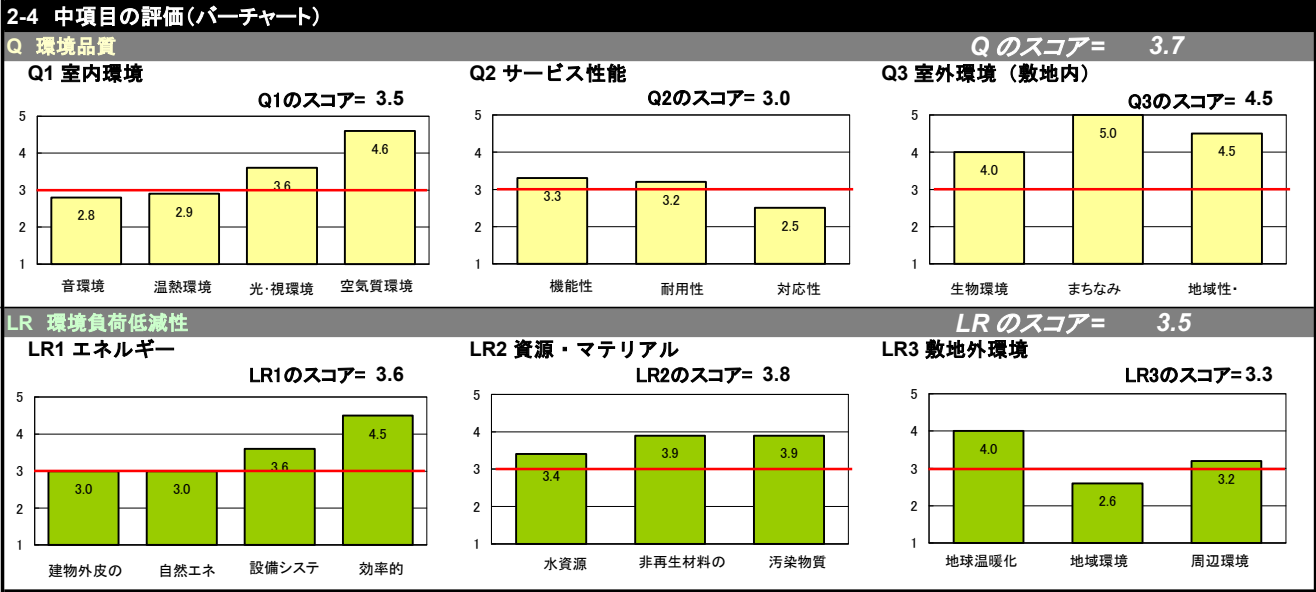
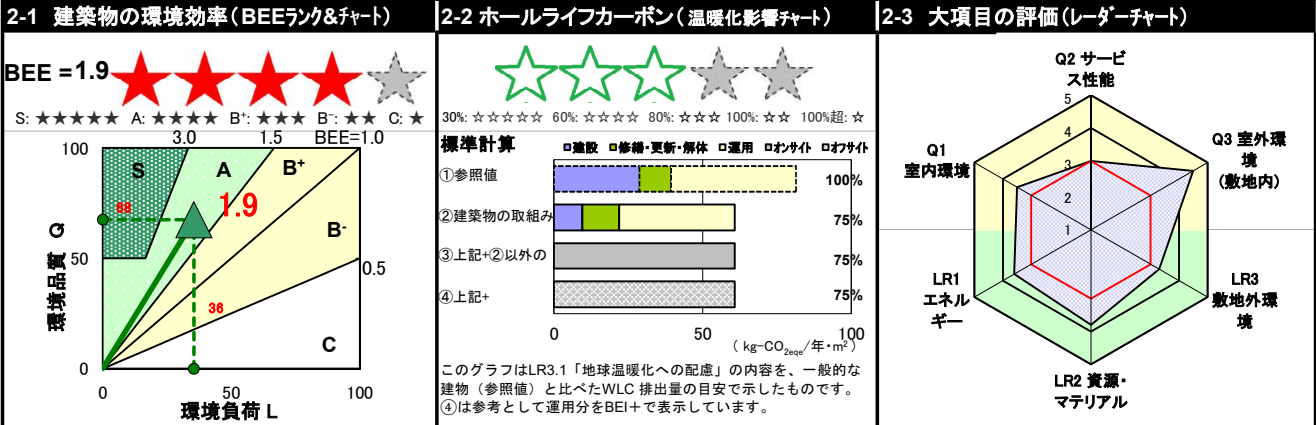


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	県営青木高層・鉄筋住宅PFI建替事業	階数	地上11F	
建設地	兵庫県神戸市東灘区北青木1丁目72番1の一部	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	929 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2029年6月 予定	評価の実施日	2026年5月29日	
敷地面積	8,040 m ²	作成者	株式会社イズミコンサルティング	
建築面積	2,749 m ²	確認日	2026年5月29日	
延床面積	17,490 m ²	確認者	株式会社市浦ハウジング & プランニング大阪支店	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
神戸市内に建設される11階建ての集合住宅である。 隣地の分譲マンションと協調してプロムナードをつくり、公共空間として地域に開放する計画である。		-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・開口部を大きくとり、自然換気性能や昼光利用に配慮している。 ・低VOCの建材を採用し、十分な換気量を確保する等、空気質環境を良好に保つための配慮をしている。	・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・電力消費量の表示機能のある装置を導入し、モニタリングを可能とすることで、エネルギーの効率的な運用に配慮している。	・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・高強度の材料やリサイクル材等を使用することにより、非再生性資源の使用量削減に配慮している。 ・発泡剤はノンフロンを使用している。	・十分なスペースの駐車・駐輪場を確保し、渋滞緩和に配慮した交通計画としている。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される